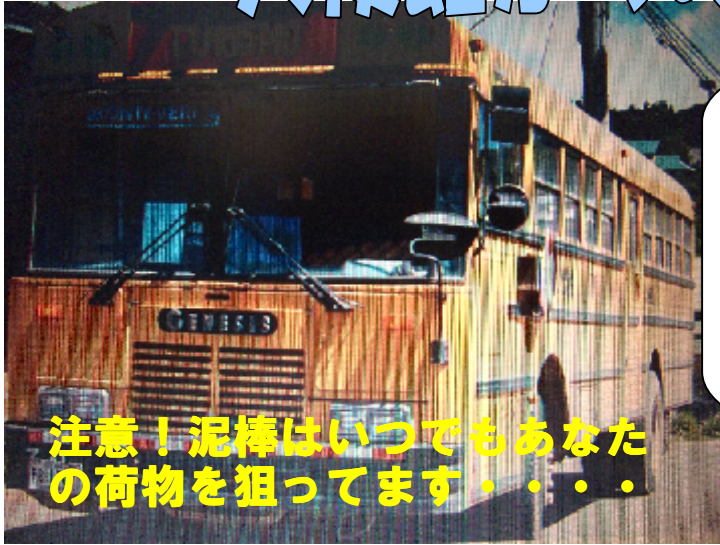


大使館からのお知らせ

邦人被害・治安

2011. 08. 26



注意！泥棒はいつでもあなたの荷物を狙ってます……

バスを御利用の際には、荷物は棚に置かず、肌身離さずしっかり持ちましょう。特に睡眠中などは無防備状態になるので、注意が必要です。常に防犯意識をもって行動するようにしましょう。

邦人被害事案に関して、最近は路線バス利用時の際の盗難事案が多発しております。在留邦人の皆様もバスの御利用には充分ご注意ください。以下最近のバス利用の際での邦人盗難被害事案になりますので、ご参考下さい。

【邦人観光客バスでの被害1】

6月24日、路線バスにてサンホセからパルマルノルテへ到着し降車の際に見知らぬ同乗者(コスタリカ人)にバックを持ってあげると言われ持ってしまい、降車後、バックを返してもらった。その後バックの中を確認したが、財布やカード等が入っていた貴重品袋が盗まれているのに気づいた。

【邦人観光客バスでの被害2】

7月28日、トルトゥゲーロからサンホセへの路線バスにて、バッグを座席上の荷棚に置いていたが、気づかぬうちに荷棚のバッグを盗難された。

【邦人観光客バスでの被害3】

7月30日、ドミニカルからパソカノアスへの路線バスにて、バッグを座席上の荷棚に置いていたが、気づかぬうちに荷棚のバッグを盗難された。

【邦人観光客バスでの被害4】

8月19日、サンホセからハコへの路線バスにて、バッグを座席上の荷棚に置いていたが、気づかぬうちに荷棚のバッグを盗難された。

【治安情報:コスタリカ】

【カリアリで男性銃殺される】

8月9日午後11時、リモン県ポコシ市カリアリで、男性2人がいきなり別の男たちに銃で撃たれ、1人が死亡、1人が怪我を負った

【サンラモンを脅かしていた犯罪グループのリーダー殺される】

8月11日午後5時半、サンホセ市アティージョの民家内で、男性がシーツにくるまれ、頭部を麻袋に覆われた状態で、銃殺されているのが発見された。被害者はアラフエラ県サンラモン市で犯罪を繰り返している犯罪グループのリーダーだった。

【ラガリータで殺されたコスタリカ人はスペイン戻りだった】

8月10日午後5時、アラフエラ市ラガリータの高級住宅内でコスタリカ人男性が銃殺された事件がおきたが、被害者はスペインに30日滞在後、コスタリカに戻ったばかりだったことが判明。事件現場にいた女性によると、雇われコンパニオンとして被害者を空港に迎えに行き、ラガリータの住宅に向かった。事件現場から現金7500ドル、銃4丁などが発見されたことから、盗難目的の犯行でないと見られている。

【シーツに包まれガムテープで縛られた遺体2体発見】

8月12日午前11時、エレディア市ロスラゴスの空き地で、シーツに包まれ、その上をガムテープでぐるぐる巻いた遺体が2体発見された。被害者たちは絞殺された模様。

【大人1人と未成年1人が銃撃戦で怪我】

8月14日午後2時、サンホセ市パバスで、女性1人と男性2人が口論になり、男性2人が民家に発砲。家の中にいた者が男性2人に発砲し、2人は怪我を負った。警察が駆けつけた際に、怪我を負っている未成年が警察に発砲しようとしたが逮捕された。また家の中から発砲した男2人も逮捕された。

【男性盗難目的で殺される】

8月16日午後7時半、アラフエラ市で車に乗り込もうとしていた33歳男性が、強盗犯に銃で撃たれ、携行していた鞆を奪われた。被害者は間もなく死亡。

【バスケットコートで若者殺される】

8月17日午後9時半、リモン県マティナ市のバスケットコートで若者3人が座って何かを食べていたところ、男3人が現れ銃で発砲した。1人は死亡、1人は怪我を負った。もう1人は逃げて無傷だった。被害者らは同地区の犯罪グループに属すると見られている。

◆ 大使館では皆さまからの情報提供をお待ちしています。◆

TEL: (506)2232-1255 FAX: (506)2231-3140

E-mail: embjapon@racsa.co.cr(大使館)または kazumasa.masuda@mofa.go.jp(増田)まで